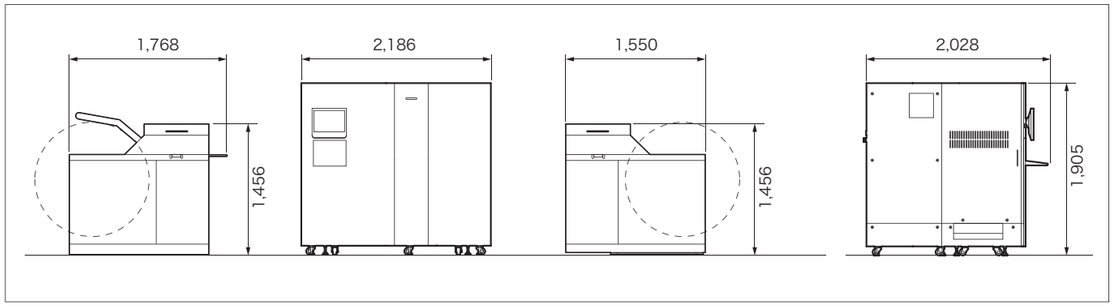
■Truepress Jet520EXモノクロタイプ概要図（単位：mm）



運用形態に合わせたシステム構成が選択可能

お客様の運用形態に合わせて選べる3タイプのシステム構成をご用意しています。

■Simplex構成
520mm幅までの片面印刷が可能。

■Dual Engine Duplex構成
2台のSimplex構成を連結した、520mm幅までの両面印刷が可能。

■Single Engine Duplex構成
1台で520mm幅までの片面印刷と250mm幅までの両面印刷が可能。

用途に応じて最適なインクを選択可能

●「水性顔料インク」
裏写りや文字太り、滲みの少ないシャープな印刷が可能です。水、光、熱、オゾン、薬品への耐性が高く、過酷な条件下でも長期間の保存が可能です。

●「水性染料インク」
顔料インクが持つ機能性よりも、コストが優先されるアプリケーションに向いています。

■Truepress Jet520EXモノクロタイプ仕様

印刷方式	ピエゾ1パス印字、1ドロップ4階調
RIP	EQUIOS
インク	水性顔料、水性染料
解像度	最大720×360dpi
製品構成	Simplex、Dual Engine Duplex、Single Engine Duplex
印字速度※1	最大128m/分（弊社条件による）
用紙幅※2	165–520mm
印刷幅※3	150–506mm
機械寸法（幅×奥行×高さ）	2,186 × 1,766（2,028：操作パネル含む）× 1,905mm（プリンター部）
質量	Simplex構成：1,766kg
電源	プリンター部：3φ200V、25A 1φ200V、13A 1φ200V、2A 巻き出し部・巻き取り部：1φ200V、17A コントローラー部：1φ200V、25A
使用条件環境	室温：18 ～ 24℃（急激な温度変化のないこと） 湿度：40 ～ 60%（結露しないこと）

※1. Single Engine Duplex構成の両面印刷時の印字速度は最大64m/分です。
※2. Single Engine Duplex構成の両面印刷時には150-250mmとなります。
※3. Single Engine Duplex構成の両面印刷時には165-238mmとなります。
※染料インク対応のモノクロタイプは、カラータイプにコンバートが可能です。
詳細は弊社営業担当へお問い合わせください。

詳細情報はこちら
www.screen.co.jp/520exmj

SCREEN
株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
〒135-0044 東京都江東区越中島1-1-1 ヤマタネ深川1号館
http://www.mtjn.co.jp/
VP営業統轄部／03(5621)8324(代)

大日本スクリーン製造株式会社 メディア&プレシジョンテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
http://www.screen.co.jp/

※本カタログは、弊社の Fairdot 2 で印刷しています。
※本カタログは、弊社の千都フォントを使用しています。
※本カタログの各商品名は各社の商標・登録商標です。
※本カタログの仕様ならびに商品デザインは改良のため予告なしに変更されることがあります。
※本カタログに掲載している商品は、日本国内仕様です。

⚠ 注意 ご使用の前には、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

No.113-056　2013年2月発行　040FSI(R1-2)

SCREEN

Creating a Future in Print

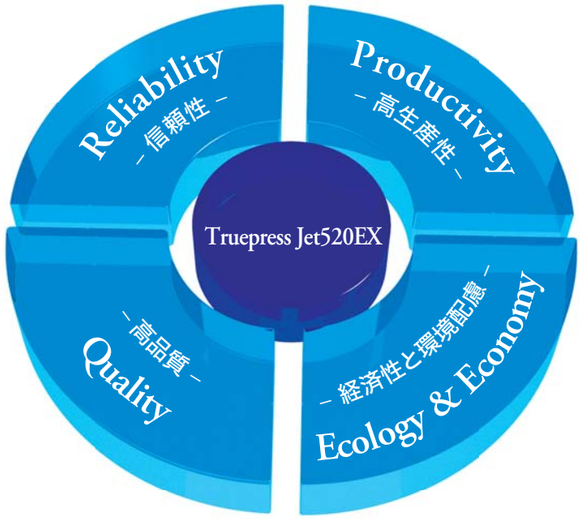
Truepress Jet520EX モノクロタイプ

バリアブルプリンティングシステム

モノクロ印刷市場に、新ビジネス創出の「真」戦力登場!

多品種・小ロット化のニーズに応え、新たなビジネスを創造

大日本スクリーンが永年培ってきた印刷製版技術と最新のインクジェット技術とを融合し、品質と生産性を両立させた「Truepress Jet520」。
他に類を見ないインクジェットプリントシステムとして新たな地位を確立し、今や世界中で数多くの稼働実績を誇るまでに成長しました。
その技術と信頼性を継承して誕生した「Truepress Jet520EXモノクロタイプ」は、モノクロ印刷に求められる機能をコンパクトに集約。
多品種・小ロット化へのニーズの高まりや、顧客からのコストダウン要求に的確に応えるさまざまな特長を兼ね備え、既存の印刷業務の効率化はもちろん、モノクロ印刷市場での新たなビジネス創出をも可能にします。



品質と生産性を両立

Truepress Jet520EXは、最小液滴3ピコリットルの多階調印刷と独自の網点技術による印刷品質、さらに最高128m/分（A4換算1,720ppm※）の生産性を高い次元で両立させたインクジェットデジタル印刷システムです。
モノクロ機として文字やバーコードの印字品質を強化しており、また、写真の階調表現性に極めて優れています。
※. Dual Engine Duplex構成時。2UP両面換算にて試算。

デジタル時代の印刷をリードするワークフロー「EQUIOS」に対応

最新のRIPコアがもたらす高速処理、用紙情報にリンクした実践的で容易なカラーマネジメント、製版のノウハウを集約した使いやすい面付け機能など、豊富な経験に基づくプロフェッショナルのノウハウを、オペレーターの経験に依存しない使いやすさで提供します。

紙にやさしい

Truepress Jet520シリーズの小液滴印刷は、紙にやさしい低温度乾燥を実現。さらに、独自の用紙搬送技術との組み合わせにより、紙への負担を最小限に抑え、薄紙や上質紙などインクジェット用紙以外への印刷をも可能としました。他のインクジェット印刷機を圧倒する用紙適性の広さが、ビジネス領域を拡大します。

人にやさしい

●イージーオペレーション
印刷ジョブの指示やログ管理、印刷時の各種設定など日常必要な操作はすべてタッチパネル式の画面に集約。使いやすさにこだわった設計思想により、簡単でわかりやすい操作環境を実現しています。

●イージーメンテナンス
安定した印刷を実現するため、永年培ってきたスキャナー技術を投入し、品質制御用スキャナーを搭載。テストチャートを読み込み、インクジェットヘッドの補正やクリーニングが必要なヘッドの検出を行います。

環境にやさしい

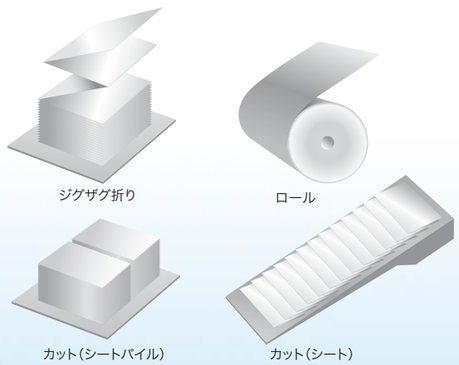
Truepress Jet520EXは、省エネルギーで定評のあるTruepress Jet520よりもさらなる省電力化を実現。高速インクジェット印刷機としては他に類を見ないエコロジー設計を実現しています。

選べるインライン加工

印刷後の加工工程での給紙仕様や加工作業効率を考慮し、ロール以外のフィニッシュ形態やインラインの加工処理装置をオプション選択できます。

●インライン加工
マージナルパンチ、縦横ミシン、スリット加工、ファイルパンチなど

●フィニッシュ形態
ロール、折り、シート、シートパイルなど



データプリント ビジネス

- 請求書明細
- ダイレクトメール
- 通知・案内書類
- その他

比類なき適応業務の多様性が、ビジネス創出を徹底的にバックアップ

Truepress Jet520EXは、A4換算1,720ppm※の生産性で効率化を強力に推進。
さらに、高い階調再現性と幅広い用紙適性で、さまざまな業務に高いクオリティを発揮。
これまでのデータプリントビジネスの常識を打ち破る、新たなビジネス創出への可能性を大きく広げます。

※. Dual Engine Duplex構成時。2UP両面換算にて試算。

ワンパス印刷による合理化

従来のデータプリントの多くは、共通部分をオフセット印刷機で事前印刷し、可変部分をプリンターで印刷していましたが、Truepress Jet520EXの誇るクオリティが、白紙からの「ワンパス印刷」を可能にしました。事前印刷の設備が不要なだけでなく、用紙在庫からも解放され、管理や廃棄のコストを削減。顧客からの設計変更の要求にも柔軟に対応できます。

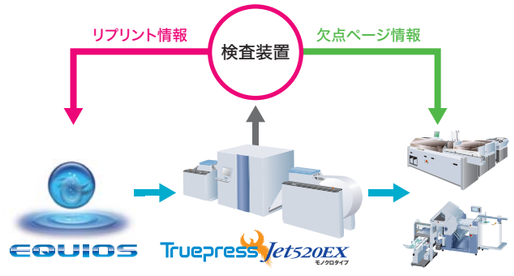
■従来の場合　■Truepress Jet520EX

もちろん、追刷り運用もOK

事前印刷に対し印刷位置を合わせるアジャスト機能を搭載。事前印刷でミシン目やマージナルパンチ加工された用紙の搬送も問題ありません。また、オプションのビットマップ検査装置は、事前印刷された用紙に対し、追刷り部分だけを検査することもできます。

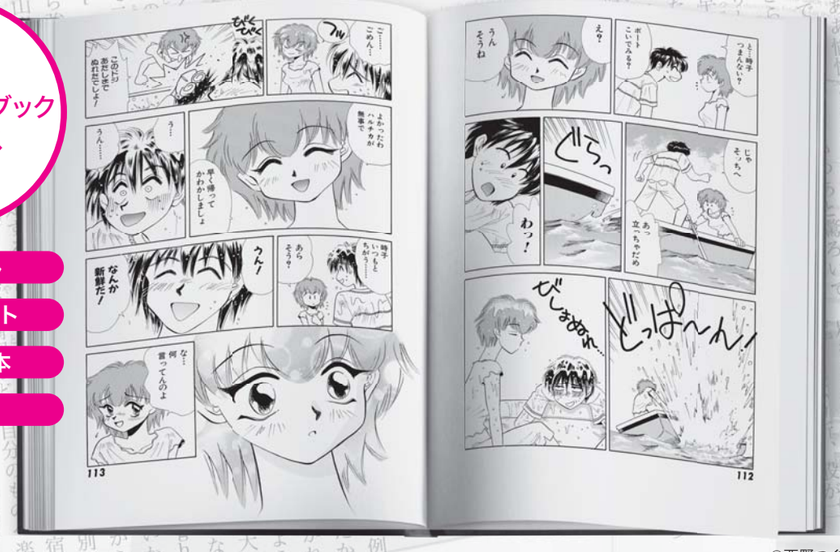
セキュアなワークフローを構築

連帳印刷によるセキュリティ性に加え、オプションのビットマップ検査装置との組み合わせにより、確実な印刷保証体制の構築をサポート。検査結果はCSV形式での書き出しが可能なため、後加工機での欠点ページの排出やプリンターへのリプリント情報として活用でき、人手の介入を極力排除したセキュアなシステム環境が構築できます。



オンデマンドブック ビジネス

- マニュアル
- 教材・テキスト
- 重版・復刻本
- その他

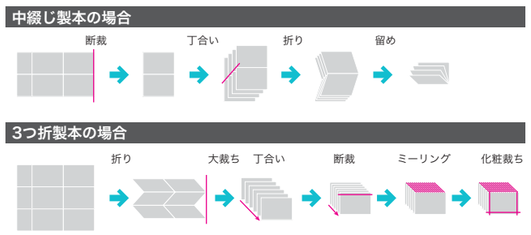


インクジェットが拡げる「オンデマンドブックビジネス」の可能性

オフセット印刷並みの加工適性や保管性能を持ちながら、
1冊から印刷が可能な柔軟性をも兼ね備えたTruepress Jet520EX。
これまで注目されながらも、業務として成立させることが困難だった「オンデマンドブックビジネス」を確立します。

製本仕様に合わせて面付けを最適化

ユニバーサルワークフロー「EQUIOS」との連携により、ロールから中綴じ、無線綴じをはじめとした多様な製本仕様の面付けに対応できるだけでなく、後加工機で必要なバーコードやカットマークなどのアクセサリを正確、簡単にレイアウト可能。高品質かつ短納期なオンデマンドブック制作をサポートします。

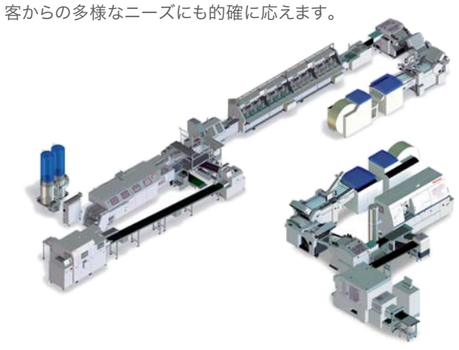


1冊からOK

これまでオフセット印刷による大量生産が主流であった無線綴じや上製本の出版業務においても、Truepress Jet520EXが在庫レスの極小ロット納品を可能にします。また、パーソナライズ化されたバリアブルコンテンツを付加したプレミアムブックを1冊から生産するなど、新たなアプリケーションへの展開を実現します。

各種製本機との連携

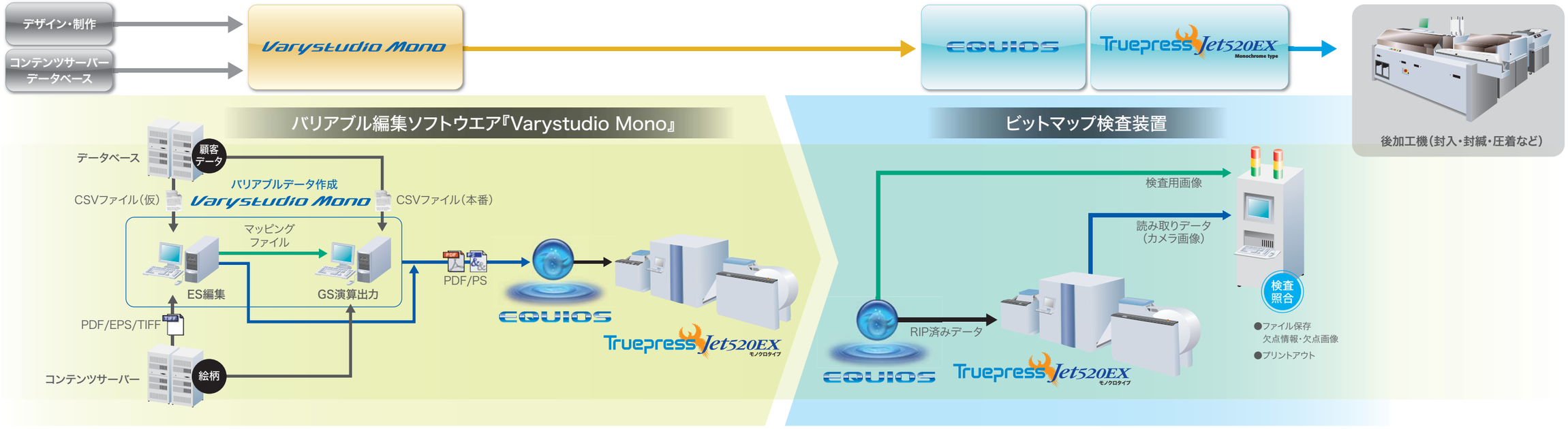
多品種・小ロット化の潮流に乗り、各製本機械メーカーからロール給紙対応の製本システムが次々に登場しています。
Truepress Jet520EXは、さまざまな製本システムとの連携が可能で、無線綴じや中綴じの極小ロットブックやバリアブルブックなど、顧客からの多様なニーズにも的確に応えます。



乱丁・落丁の心配なし

繋がった紙に1冊単位で印刷する「ロール紙」は、後工程での丁合いが必要なく、乱丁・落丁の心配がありません。バーコード印字で製本機との連携も図れ、より確実な生産管理体制が構築できます。

印刷工程全体をトータルに支えるオプション



生産性とデザイン性を兼ね備えたバリアブル編集ソフトウエア『Varystudio Mono』

バリアブル印刷を活用したOne to Oneマーケティングでは、顧客からのレスポンスや満足度をいかに高めるかが重要になっています。そのため、クオリティの高い印刷表現力とともに、デザイン性やレイアウトの柔軟性など、「魅せる」工夫も必要です。
「Varystudio Mono」は、多彩なデザイン・組版機能を備えた、バリアブル印刷用の編集ソフトウエアです。可変要素の作成・編集を行う「デザイン部(ES編集)」と、PDF/PSファイルなどを出力する「出力部(GS演算出力)」の2つから構成されており、それぞれの工程に特化したワークフロー設計も可能です。すぐれた品質と生産性をもつ「Truepress Jet520EXモノクロタイプ」との連携により、バリアブル印刷に新たな付加価値を創造します。

ユーザーフレンドリーな設計

簡単な操作でレイアウトデータの可変部分とテキストや画像などとの関連付けを即座に行えます。また、DTPソフトウエア「Adobe® InDesign®」をフレームワークに採用し、バリアブル編集機能をプラグインで実現。初期投資を抑えながら、デザイン重視の商業印刷から生産性重視のデータプリントまで幅広く対応できます。

多様な面付け設定が可能

多面付け、串刺し面付け、後加工用の可変バーコード・固定部品など、バリアブル印刷で求められる各種面付け設定に柔軟に対応します。

ホットフォルダ運用

出力時の条件を設定した「ホットフォルダ」に、CSVファイルなどのデータをドラッグ&ドロップするだけで、PDF/PSファイルの出力処理が可能です。

出力時にモノクロ変換可能

カラー部品をレイアウトしている場合でも、モノクロに変換して出力することができます。また、レイアウト時には仕上がり状態を表示し、可変部だけを出力して追い刷りデータを作成することもできます。

専用の『検査装置』で高精度&確実な印刷を実現

Truepress Jet520EXはプリンター内部に検査装置を搭載することで、バリアブル印刷の全面・全量検査が可能となります。汚れやかすれなどの印刷不良の検出、バーコードやOCR文字の読み込みなどで高い信頼性を維持できます。また、検査結果はログとして保存できるため、前後工程への情報提供へも活用できます。

バリアブル印刷の全面・全量検査が可能

プリンティングシステム内部に高速カメラを搭載し、RIP処理時に作成した画像と高速カメラの画像をリアルタイムに比較検査することで、バリアブル印刷の全面・全量検査が可能です。

事前用紙設定

印刷開始前に、用紙の地色や事前印刷情報などが登録できます。これにより、印刷するデータと実際の出力物との誤検知を防ぎ、より精度の高い検査を可能にします。

優れた欠点検出レベル

高度な検査が可能で、ドット抜け、汚れ、異物混入、文字の欠け・かすれなど、多くの種類の欠点検出が可能です。

欠点情報をリアルタイムにチェック

検出された欠点画像や欠点位置は、印刷中であってもリアルタイムに確認でき、スピーディーな判断を可能としています。また欠点画像データは、自動でファイリングされるとともに、プリントアウトも可能。欠点の有無が一目で判りますので、作業報告や履歴管理の書面として活用できます。

検査情報をCSV化

検査後の欠点情報や、OCR文字・バーコードの読み取り結果をCSVファイルに保存可能なため、欠点状況の把握や前後工程の処理データとして活用できます。また、後加工に入る前に欠点ページを抽出し、前工程へのリプリント指示や後工程への欠点ページの排出指示が的確に行えるなど、加工機との連携によって一貫したワークフロー構築にも役立ちます。